

Certified Data Center Facility Operations Manager<含 認定試験>

(データセンター・ファシリティオペレーションマネージャ
認定コース) (CDFOM)

データセンタ運用業務のチームリーダーを育成します

スケジュールと申し込み	スケジュール確認・お申し込み
コースコード	HK763S
日数 (開始時間~終了時間)	3日間 (10:00~18:00)
実施方法	・クラスルーム (本社) ・ ライブオンライン ・ 1社研修 ・ オンサイト研修
受講料	270,000円 (税込み : 297,000円)
主催	日本ヒューレット・パカード合同会社

※受講料は、予告なく変更されることがございます。

コースの特徴

- データセンター ファシリティの運用リーダーになるためのベストプラクティスを習得します
- ベンダーに依存しない、世界で通用する認定コースと試験のセットです
- 日本では、HPEでのみ受講および受験が可能です
- データセンター認定資格について、詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

コースの概要

データセンターのチームリーダーが計画から監視、レポートに至るまでデータセンターの運用管理に関する深い知識を習得できます。

国際標準に基づいてトピックが取り上げられているだけでなく、世界的なデータセンター施設の管理に長年の経験を持つ熟練のデータセンター専門家によるベストプラクティスを扱います。

データセンター ファシリティ オペレーション マネージャ 認定試験に合格すると、CDFOM[®] : Certified Data Center Facility Operations Manager資格が取得できます。

CDFOM[®]資格とは

CDFOM は全世界で有効な、データセンターのファシリティを運用管理する高度な専門知識を有することを証明するベンダーに依存しない世界資格です。

スキル標準ユーザー協会によって研修と資格の有用性が認められており、ITスキル標準のスキルマップにも記載されています。

日本においては当社の研修でのみ取得可能です。

有効期限は、3年です。期限切れの期日は、認定証の下の方に記載されます。

なお、有効期間内にCDFOM再試験を受験して合格することで資格を更新できます。更新すると、有効期間は3年間延長されます。

以下の場合は、再度コースを受講していただく必要があります。

- ・ 受講後1年以内に合格していない場合
- ・ 試験に3回連続で不合格になった場合

受験資格

本研修のすべての講義を受講すること。
研修時間全体の30%以上の席外し・遅刻・早退がある場合は、受験資格を失います。

【認定証のPDF提供】

認定試験合格後に発行される認定証はPDFでのご提供となります。

認定証は試験機関のWebサイトよりダウンロードできます。

※コース概要は、予告なく変更されることがございます。

CDFOMとCDFOSの違い

CDFOM	CDFOS
<ul style="list-style-type: none">■ データセンターのチームリーダーの方向け■ 例えば、ベンダー管理、SLA管理、安全とセキュリティのポリシーと管理、キャリアプランニング、災害復旧/事業継続、組織の問題などが対象	<ul style="list-style-type: none">■ データセンターで、日常的な運用の実務に携わる方向け■ 例えば、機器の保守、電算室のIT機器の設置撤去など、基本的には工学レベルが対象■ 詳細はこちらをご参照ください

HPE ライブオンライン研修

本コースはHPE ライブオンライン研修に対応しています。

HPE ライブオンライン研修はインターネットを使ったオンライン研修です。場所を選ばずに、演習を含め全ての研修項目を、教室での受講と同じ高いレベルで受講する事ができます。

ライブオンラインに関して、詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

テキストは電子版を使用します。事前に電子テキストをご入手いただいていることを前提に研修を進めさせていただきます。ご入手いただくための方法は、お申し込み後の弊社からのメールに記載されています。

試験についてのご注意

実施方法(クラスルーム/ライブオンライン)に関わらず、オンライン試験(EXIN社のEXIN Anywhere)を使用します。研修期間中の試験実施はございません。研修終了後、お客様のご都合に合わせた日程でご受験いただけます。

オンライン試験の詳細は[こちら](#)をご参照ください。※クラスルームでのペーパー試験は終了いたしました。

前提知識

コンピュータの基礎知識を有する方。

CDCP（データセンタープロフェッショナル認定）を取得しているか、同等の知識があることが望ましい。

※CDCPは必須ではありません。

主な対象者

データセンター ファシリティの運用管理を担当される実務者、責任者、コンサルタント、マネージャ

コースの目的

このコースを修了すると以下のことができるようになります。

- ビジネス要件をデータセンターのサービスに変換するニーズ分析を実行する
- データセンター運用チームを構築および管理する
- 安全性とセキュリティの実践を実施および監視する
- データセンターのファシリティとその機器に適したメンテナンス プログラムを特定する
- データセンターの運用に必要な適切なポリシーと手順を選択する
- データセンターの可用性、容量、機能を監視する

- 基本的なデータセンターのプロジェクトを管理し実装する
- 環境のサステナビリティ・プログラムを設定して実施する
- 組織のレジリエンスをサポートする適切なバックアップサイトを選択する
- データセンターのリスクを特定して対応する
- ドキュメントのライフサイクルを管理およびサポートする
- 基本的な予算案を作成する
- ベンダーを選択して管理し、パフォーマンスを測定する
- データセンター資産を管理する

コースの説明

1. サービスレベルマネジメント

- サービスレベルマネジメント(SLM)
- 要件分析、ビジネス/サポート/商業的/法令要件
- 能力評価
- サービス構成ドキュメント
- サービスカタログ
- サービスレベル契約
- SLA 計測の評価基準
- 可用性の計測
- ベンダーの調整
- 報告
- 苦情対応
- 顧客満足度、顧客満足度調査
- サービス改善プロセス (SIP)
- 会議の内容の確認

2. データセンター組織

- 運用管理の重要性
- 運用における共通課題
- 運用チームを設定
- 組織図
- 運用チーム構成の例
- 役割と責任
- スキルマトリクス、人材マトリクス
- 不測事態対応/バックアップにおける役割
- シフト管理とスケジューリング、シフト引継ぎ
- データセンターにおけるリーダーシップ

- リーダーシップの質
- パフォーマンス管理
- 主要パフォーマンス目標 Key Performance Objectives (KPO)
- 主要業績評価指数 Key Performance Indicators (KPI)
- 業績評価/査定
- やりがいのあるパフォーマンス
- キャリア開発
- 研修と査定、研修計画、継続した教育、研修記録
- 再認証
- 配置転換
- 後継者育成
- 懲戒プログラム

3.安全と法令要件の管理

- 重要な注意事項!
- 会社の安全指針と規制
- 危険性の評価
- ベストプラクティス
- 労働安全衛生 Occupational Health and Safety (OH&S)
- 安全管理要員の任命
- OH&S/WHS (労働安全衛生) マニュアル
- 安全意識向上研修
- ベンダー/サプライヤーへの説明
- コミュニケーション - 参加 - 相談
- PTW - Permit To Work : 作業許可の手続き
- 測定・試験装置 Measurement and Test Equipment (M&TE)
- 校正/証明書
- ロックアウト/タグアウト
- PPE - Personal Protective Equipment : 個人用保護具
- (ポータブル) 機器のテストとタグ付け
- 緊急事態への準備と対応
- 緊急事態コーディネーター、緊急事態コミュニケーションコーディネーター
- 危機管理とコミュニケーション
- 危機管理センター
- 危機コミュニケーション
- 安全性の問題の報告
- レビュー/内部監査/外部監査

4.物理的セキュリティ管理

- セキュリティ指針と手順
- ISO/IEC 27001
- 基準とガイドライン
- セキュリティリスク評価
- セキュリティ担当者
- セキュリティ意識
- セキュリティに関する問題の報告
- セキュリティインシデント管理
- 計画と準備
- 検出と報告
- 評価と決定
- 対応
- 学んだ教訓
- 懲戒プログラム
- レビュー、内部および外部監査
- 外部監査

5.設備管理

- 施設設備のメンテナンス
- メンテナンスの重要性
- 指針、手順、および作業指示
- メンテナンスプログラム
- 作業指示書
- バディシステム（相互補完システム）
- ベンダーの手順と作業指示
- プログラムの選択
- メンテナンスの定義
- 改良メンテナンス
- 信頼性中心保全： Reliability Centered Maintenance (RCM)
- 社内/外部委託のメンテナンス
- メンテナンス契約の選択肢
- Time and Material 契約
- 基本/標準/非包括的カバレッジ
- 包括的なカバレッジ
- メンテナンス範囲の決定
- サービスプロバイダーの評価
- メンテナンス契約の必要最小条件、実用的なヒント
- 保証
- 保証の落とし穴

- メンテナンススケジュール
- メンテナンスサービスの状況
- スペアパーツの保有と管理
- 研修
- 汚染制御

6.データセンター運用

- 指針と手順

7.監視/報告/制御

- 監視要件
- 報告
- 報告要件
- 傾向分析
- レビュー

8.プロジェクト管理

- プロジェクト管理
- 方法論
- プロジェクト構造
- プロジェクトマネージャー
- プロジェクトの各フェーズ

9.環境の持続可能性

- 環境の持続可能性
- 持続可能性の重要性、指針、フレームワーク
- 上級管理職のコミットメント
- パフォーマンスの基準と指標
- 情報指針
- 環境管理
- ISO 14001
- グリーンに関する基準やガイドライン
- ISO 50001
- 測定および測定カテゴリ
- ベースライン設定
- 傾向分析
- エネルギー管理
- 電力効率指標

- データセンターでの典型的な電力使用
- PUE
- 廃棄物管理
- 水の管理
- WUEの活用
- 新しいIT機器の購入
- ICT利用向上管理
- Server 仮想化
- データ管理
- データストレージ管理
- 報告
- サービス課金モデル
- 持続可能なエネルギー利用
- 再生可能エネルギー率：Renewable Energy Factor (REF)

10.組織の強靱性

- 事業継続性
- PDCA サイクル
- IT とデータセンター施設
- データセンター施設
- ビジネス影響度分析 Business Impact Analysis (BIA)
- インシデントの種類と規模
- 施設の種類
- 人材
- 施設、設備、消耗品

11.組織の統治とリスクおよび法令遵守

- コンプライアンス
- 指針と手順
- コンプライアンスドキュメント記録簿
- 監視と再認証
- 企業リスク管理：Enterprise Risk Management (ERM)
- リスクのガイドライン
- プロセスの流れ
- データセンターのリスク
- 状況の確立
- インパクトの判断基準
- インパクトと評価の判断基準

- 受け入れ可能な判断基準
- 識別
- 既存の制御
- 分析
- 定性的分析
- 半定量的分析
- 評価
- 処理
- コミュニケーション
- 監視とレビュー
- ドキュメント管理
 - ドキュメントの重要性
 - ガイドライン
 - ライフサイクル
 - 作成、承認、発行、メンテナンス、保管、廃棄
 - ドキュメントの種類、分類、記録簿
- 財務管理
 - 予算編成
 - 資本コストと運用コスト
 - 予算カテゴリ
 - 会計
 - チャージバックとショウバック
 - チャージバックの方法
- ベンダーマネジメント
 - ベンダー選定
 - サービス要件分析
 - 範囲と成果物の例
 - 商業的/法的要件の例
 - 技術要件の例
 - 情報提供依頼書 Request for Information (RFI)
 - 提案依頼書 Request for Proposal (RFP)
 - 提案依頼書 - ベンダーポリシー
 - RFPのオプトアウト（コンプライアンス許可済み）
 - RFP - 内容
 - 選定と評価
 - ベンダースコアカード
 - 信用調査の検証
 - 契約管理

- ベンダースタッフ研修
- ベンダーマネジメント
- 契約終了
- 資産管理
 - 資産管理記録
 - ラベル付け
 - 棚卸

12. CDFOM 試験対策

13. CDFOM 認定試験

※コース内容は、予告なく変更されることがございます。

備考

受験資格

本研修のすべての講義を受講すること。
2時間以上の席外し遅刻早退がある場合は、受験資格を失います。

HPEライブオンライン研修

本コースはHPEライブオンライン研修に対応しています。
HPEライブオンライン研修はインターネットを使ったオンライン研修です。場所を選ばずに、演習を含め全ての研修項目を、教室での受講と同じ高いレベルで受講することができます。
ライブオンラインに関して、詳しくはこちらをご覧ください。
ライブオンラインでは、オンライン試験を実施いたします。

テキストは電子版です。事前に電子テキストをご入手いただいていることを前提に研修を進めさせていただきます。ご入手いただくための方法は、お申し込み後の弊社からのメールに記載されています。

ライブオンラインではオンライン試験用の試験バウチャーを発行いたします。
バウチャーを使用して後日オンライン試験をご受験いただけます。
オンライン試験については[こちら](#)をご覧ください。

オンライン試験：研修終了後、ご自身の都合に合わせた場所、時間でPCを使用してご受験いただけます(受験に必要なバウチャーは研修終了日までに発行します)。一定の要件がございます。詳しくはこちらをご覧ください。

認定証のPDF提供

認定試験合格後に発行される認定証はPDFでのご提供となります。
認定証は試験機関のWebサイトよりダウンロードできます。

ご受講いただいたお客様の声

CDFOM)

「国内、海外の傾向などもわかり有意義だった」

「運用で自分の考え方、進め方で迷う部分があったが、研修をうけて正しいことだったと自信が持てた」

「安全管理に関する建築業者とIT事業者のギャップの大きさをあらためて認識した。今後のDC拡張、リプレイス等の場面で役立てたい」

「断片的な知識が体系立てて受講することができ、有益だった」

「講師の話がとてもヒントになり面白かった」

「データセンタのファシリティマネジメントに関してあるべき姿は体系的に理解でき、満足」

「講師の話が分かりやすい。今後の業務へのたくさんの気づきをもって帰ることができた」

「運用担当のお客様からの質問（問い合わせ）に対する回答時に役立たせたい」

お問い合わせ・お申込み

日本ヒューレット・パカード合同会社

HPE教育サービスお問い合わせ窓口

(月～金： 9：00～12：00、13：00～17：00、土日、祝祭日、年末年始及び5/1は除く)

[お問い合わせフォーム](#) →

[FAQサイト](#) →